

2024年度

ニチキッズ洛西口第二保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年2月1日（土）～2月28日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月22日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	定期的に『おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ』の保育理念を職員間で話し合い、ニチキッズの保育の根底を周知した。 子どもたちの“自分でやりたい気持ち”“やろうとする意欲”を大切に一人一人に寄り添いながら自己肯定感を育む保育を行った。
子どもの発達援助	毎日の食事時間を楽しく過ごせるように『おもいっきり給食』に取り組んだ。食材パネルを使って当日使用する野菜の名前を伝えたり、個々の発育や嗜好に合わせて盛り付けや大きさを工夫して提供することで、“食べてみようかな”と食に興味をもてるように取り組めた。
保護者に対する支援	今年度は、保育参加・保育参観を再開することができた。行事をきっかけに保護者同士関わることで横のつながりもでき、子育ての情報共有やコミュニケーションを深める機会となった。また保育士も加わることで子育ての悩み相談も共有し、保護者支援に努めることができた。
保育を支える組織的基盤	日々、職員間で話し合いや連携を密にし、一人一人が自信をもって業務に取り組めるように注力した。また、リーダー・サブの保育士を中心に職員のOJTを丁寧に行うことで、園運営の安定に繋がっている。

総評
定期的にミーティングや職員会議を行うことで、園全体の保育の方向性や子どもの発達状況等を共有し、保育の安定に繋がった。また業務改善における問題点を洗い出すことで、園の課題を全員で認識がすることができた。今年度は、キャリアアップ研修等の外部研修にたくさん受講することができたので、次年度においては園内研修内で落とし込みをし、職員一人一人のスキルアップの充実をはかりたい。 保護者支援においても、行事・日々の関わりのなかで、安心して利用して頂けるように努めた。 引き続き、[子ども一人一人に寄り添った保育]を強みに保育の質を高めていきたい。